

日常・イベント・防災で大活躍

羽釜でご飯

蒸気が出てから約10分、火から降ろして約10分蒸らせばふっくらかまどご飯が炊けます

始めチョロチョロ中ばっぱ



ピザ

オプションのピザ釜を用いて約5分、こんがり焼き色の付いたピザが焼き上がります



本格的石焼いも

焼いもBOXに入れ、じっくり約40分で本格的な石焼いもが出来上がります



MD70KC 烧いもBOX

長野市民新聞

2015年(平成27年) 11月 26日



吉田町区で災害への備えを行う区民有志の団体「吉田町区お助け隊」は23日、新たに購入したまきストーブを活用し、大規模災害を想定した初の炊き出しが、お助け隊は本年度最後の炊き出しだ。お助け隊は昨年、ガスや電気などライフラインが寸断された場合に暖を取り、炊き出しができる点に着目し、鐵製とステンレス製の2種類のストーブを調達。必要な資材や備蓄品を含めて21万円余の費用は長野市の支所発

行なった。隊員や区民ら約50人が参加。地元の赤十字奉仕団員の指導で、米を専用の袋に入れて炊く手順を確認した。お助け隊の隊長、森山実さん(66)は「災害では日ごろからお助け隊は区役員を通じて区民同士のつながりも強めていきた」と話していた。お助け隊は、区役員ら39人で昨年発足した。まきストーブ購入を契機で、地元での防災訓練などの活動を本格化させる方針だ。

まきストーブで炊飯

吉田町区 有志団体が防災訓練

地域力向上支援金を活用して丁寧した。訓練では、まきストーブの釜の部分に入れられた水が沸騰するまでにかかる時間を確認しながら約3kgの米を炊いた。お助け隊の隊長、

森山実さん(66)は

「災害では日ごろから

の備えが大事。訓練を

通じて区民同士のつな

がりも強めていきた

い」と話していた。

お助け隊は、区役員

ら39人で昨年発足し

た。まきストーブ購入

を契機で、地元での防

災訓練などの活動を本

格化させる方針だ。

